

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	21208
----------	-------

1. 開設大学	広島大学 総合科学部	開催方法 (キャンパス・施設)	<input checked="" type="checkbox"/> 対面 (東広島キャンパス) <input checked="" type="checkbox"/> オンライン (同時・録画)
2. 科目名	大気汚染の過去・現在・未来 —産業革命からマイクロプラスチックまで—		
	学問分野	番号	43 名称 環境
3. 担当教員	石原 康宏、竹田 一彦、岩本 洋子 (以上2名大学院統合生命科学研究科) 春日 あゆか (大学院人間社会科学研究科)		
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和 5 年 8 月 8 日 (火) 10 時 00 分 ~ 16 時 20 分 (50 分× 5 回)		
5. 募集定員	30 人		
6. 科目内容・ 授業計画	<p>【講座内容】 産業革命以後近代化が急速に進み、私たちの暮らしは便利になってきましたが、その代償として環境への負荷も増えてきました。現在の大きな環境問題の1つは大気汚染であり、PM2.5 やマイクロプラスチックなど環境中の微粒子がその一因となっています。本講義では大気汚染の歴史的な側面や地球で今起きていることを講義します。さらに、大気汚染下で生活することでヒトがどのような影響を受けるのかもお話しします。これらの知識を基に、『私たちが未来の地球に対してできること』を議論します。 また、研究室ツアーを実施し、環境研究に触れて頂きます (対面参加者のみ)。</p> <p>【講座計画】 8 月 8 日 (火) 会場：総合科学部第1会議室 (集合 9:50 集合場所：総合科学部事務棟正面玄関) 第1講 10:00-10:50 過去から学ぶ—産業革命期イギリスの大気汚染対策 (春日) 第2講 11:00-11:50 海の微粒子—プラスチックゴミの末路 (竹田) 昼休み 第3講 13:30-14:20 大気中の微粒子—PM2.5 と未来 (岩本) 第4講 14:30-15:20 次世代影響—大気汚染下で生まれた児 (石原) 第5講 15:30-16:20 今を生きる我々の宿題 (全員) ※ 昼食後 (13:00-13:30) に「環境研究の現場から」と称して、研究室ツアーを開催します。環境研究がどのように進められるのか、実地で説明します。</p>		
7. 受講料	無料		
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし		
9. 開講条件※1 あり ない	① 最少開講人数 (人) 定員超過の不許可は選考により決定 ----- ② 不許可・不開講通知日：6月末まで		
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など 講義は対面 (東広島キャンパス) およびオンライン (Zoom による同時配信) で実施します。講義で疑問に感じたことを Google form に記載してもらい (無記名)、第5講で議論します。尚、研究室ツアーは対面参加者のみに なります。対面またはオンラインの希望を推薦名簿の備考欄に必ずご記入ください。		
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/→広島大学→交通アクセス→東広島キャンパス 広島大学総合科学部アクセス https://www.hiroshima-u.ac.jp/access		

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。
コロナ禍の影響により、対面講座の不開講・休講になる場合があります。